

乗鞍岳山行報告書

日時：7月7日（木）～7月8日（金）晴れ後曇り

メンバー：M(報告)他4名

朝、5時30分寒川を出発。乗鞍高原へと車は進む。車も少なく中央道は快適だった。

5月初旬、上高地に来た時より木々の緑が一層濃い。夏山到来を感じる。

乗鞍岳は今度が4度目

1・2度目は畳平と魔王岳のみ。3度目は快晴と言うのに、強風のためバスが出ず断念。

今回4度目は是非ピークハントしたい！

バスから畳平に降りると、ものすごい寒さと風で急いで今日の宿泊所、銀嶺荘へ駆け込んだ。

私は、半袖にアームカバー、其の上に雨合羽を装着。アームカバーの手袋が半分付いているので手袋は省略でい
いかなって・。これが後でとんでもない寒さの後悔となった。(手袋・長袖を着れば良かった)

気温は100mで0・6度低くなるのは分かっていたが・・。

11時30分過ぎ畳平出発。

道が壊れているのでお花畑からは行かれず。鶴ヶ池を周り、富士見岳西山腹を巻きながら緩やかな登りを進んで
行った。

途中、可愛らしいピンク色のコマクサ・コイワカガミ、キバナシャクナゲ・ツガザクラ・ハクサンイチゲの花々
に目を奪われ、あっという間に肩の小屋着。

下界は30度以上の快晴と言うのに、乗鞍岳はぽっかりとベールに包まれたようにガスで覆われていた。時折太
陽らしき姿がガスを通して見え隠れする。

肩の小屋辺りから強風となる。それに寒い！小休憩をとり出発した。

そこから登山となる。登山道は火山性砂礫や黒や赤色のゴロ石が強風のため、バランスを狂わせ足元も狂わせ
た。

すごい風だった。九州韓国岳から新燃岳高千穂を縦走した時以来の風のような風だった。

視界が開け蚕玉岳尾根に出たら一層強風となった。剣ヶ峰はすぐそこ。小さな頂上小屋前で小休憩。あんずゼリ
ーが美味しかった。

最後急坂を登ったら3026m 剣ヶ峰頂上に到着。強風の中感激！

乗鞍本宮本殿を拝み遅いお昼とした。

その時は不思議と風もなく、美味しいおにぎりとお漬物を食べ寛いだ。

帰りは相変わらずガス。風は気にならなくなり、花々を見ながら、ゆっくりと下山した。

宿の食事はとても美味しく、宿のご主人もとても親切だった。

10時過ぎ外に出た。

天の川はきらきらと輝き、煌めく星屑。まるで宝石のようで、忘れられない七夕の思い出となった。

翌日は3時30分起床。4時20分位から出るご来光のため富士見岳を登った。またもや強風。

茜色の太陽が出ると思った瞬間、厚い雲が現れ見ることはできなかった。

が、雲海の中に浮かぶ八ヶ岳、富士山、中央アルプス、南アルプス、槍ヶ岳、穂高などの山並みを十分堪能する
ことができた。

帰りは、脱衣所で寝てしまう程の源泉かけ流しの白骨温泉で、体の疲れはすっかりとれた。安曇野牧場産コーヒ
ー牛乳を飲む。これが美味しい。

遅いお昼はお蕎麦の隠れ家へ。ひと昔前の家にタイムスリップ。本当に美味しいお蕎麦だった！

山の頂上は視界が悪かったが、山を楽しみ、星や宿・温泉・お蕎麦など山以外の事も楽しむという事をこのメンバーから教わった。

とても楽しい山行だった。

反省点：風が吹くと体感温度がぐんと下がり寒さが増すので、寒さ対策の服はザックに準備しておく事（長袖等宿にデポしたため着られなかった）



コマクサ



頂上



左端富士山